



連休はいかがお過ごしだったでしょう？ 久しぶりの行動制限のないお休みでした。4月参観・懇談も、校内でできました。6月オープンスクールもオンラインなしの、校内実施を予定しています。また、いよいよ、プールでの水泳指導も再開できそうです。水着に関しては、慌てて購入されなくても良いように計画をしていますので、しばらくお持ちください。(私物の使用可。6年は中学の水着を購入可など。着衣水

泳など) また、この2年間全く水泳指導がなかったため、本年度は無理をせずに、水慣れをする程度と考えています。少しずつ、少しずつ、元に戻していきます。焦らずに歩調を合わせていただければ幸いです。

★ かげひたす 水さへ色ぞ 緑なる よもの梢の 同じ若葉に ★

藤原定家の歌です。「四方の木々の梢がすべて若葉なので、影を写す水の色さえ緑に見えることだ」という意味です。4月の里小は校務員さんのおかげで、お花がいっぱいでした。入学式のチューリップはまさに珠玉のできでした。(150本を超える満開のチューリップが並んだ入学式壇上。その後しばらく玄関に飾ってありましたので観られた方も多かろうと思います。なにより、会場は3階でしたネ。)



5月は緑の月です。朝からのさわやかな晴れ。武庫川や付近の用水路まわり、何より里小校庭は新緑が目突き刺さんばかり。若葉緑(わかばみどり)とは、これから成長して濃くなっていく、始まりのみどり。黄緑よりさら白い色です。これから、一年様々な可能性に成長する子どもたちの始まりの色です。

“子どもたちの若葉緑は、どれくらい成長していくのかを期待できる、心の色合いである。”

☆ わらはべの 若葉緑ぞ 心寄せ いかにかに生い成る 心色なり ☆

皐月

5月は、皐月。「さつき」と読みます。「五月」と書いても「さつき」とよみますネ。皐月は、田や畑を耕す意味する古語「さ」から、稲作の月。つまり「さ」の月として「さつき」になったという説が有力です。苗代(なわしろ)から田に移し植える、早苗を植える月「早苗月(さなえづき)」が略され、

「さつき」になったとする説もあります。「早苗」の「さ」も耕作の「さ」が語源とされています。漢字の「皐」には「神に捧げる稲」の意味があるため、さつきに「皐月」が当てられたと考えられます。いずれにせよ、田植えには関係ありそうです。



May

5月 May: /meɪ/ (古代ローマでは、5月1日に豊穡の女神マイア(Maia)を祭り供物が捧げられたといわれます。これが「5月 May(メイ)」の語源だそうです。同音異義語である「may」は助動詞です。「～する可能性がある」◆推量・可能性を表す◆「～することができる」◆許可を表す◆という意味に使われます。

私たちは、児童の可能性に挑戦しても良いですか？
May we challenge the potential of children?